

国内唯一、世界品質の総合日本の養豚産業の発展を支





遺伝子改良技術を駆使し、 生産者が求める優れた種豚を供給

日本の食文化に深く根付いている豚肉。イワタニ・ケンボローは、直営の種豚繁殖農場とAIセンターを擁し、PIC社から輸入した優れた遺伝子をもとに、遺伝子改良技術を駆使して育種改良。日本の市場に合った高品質で競争力のある種豚を生産し、全国の生産者に販売・供給しています。

養豚の生産性と安心・安全を高める、 最新の施設・機器を提案

豚は繊細で、その生育は畜舎の環境に大きく左右されます。イワタニ・ケンボローは、健やかな成長、生産効率のアップ、衛生管理の徹底など、養豚に求められるニーズを高いレベルで満たす畜舎の設計・施工、最新機器の販売など、理想的な養豚環境の構築を幅広くサポートしています。

明日の養豚を、 生産者の 皆さまと共に

培った技術・ノウハウを提供し、 明日の養豚経営をサポート

養豚を取り巻く課題を克服し、養豚経営の安定と発展に寄与するために、イワタニ・ケンボローは、自社農場で培った生産技術やノウハウ、さらには最新の理論やテクノロジーに基づくマネジメントサービスを提供しています。時代の変化に応え、独自の総合力を遺憾なく発揮します。

日本の養豚を、豊かな食の創造を、種豚から変えていく確かな力に。

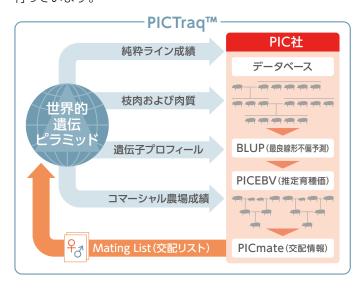
世界のトップブランド「ケンボロー」。その優れた能力をさらに高め、日本の食文化に合った種豚を、全国の生産者に供給しています。

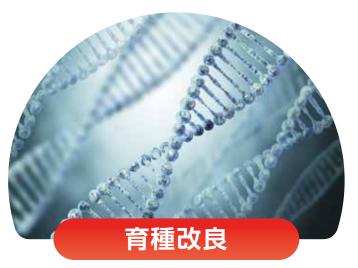


より優れた種豚の供給を目指し、 PIC社から世界最高の遺伝子を輸入

世界最大の規模を誇る種豚と育種改良の会社であるPIC社は、世界中で行っている膨大な数の育種改良と豚の飼育実績を、独自の遺伝改良データベース「PICTraq(ピックトラック)」に集約し、最新のゲノム解析などを駆使して他社にないスピードと精度で、新たなニーズに応える遺伝改良プログラムを進めています。こうして生まれる優れた能力を持つ種豚は、世界60ヵ国以上で販売・利用され、日本の養豚業界においてもトップブランドとして高く評価されています。

イワタニ・ケンボローは、このPIC社から日本市場に適した 最高・最先端の能力をもつ遺伝子(原々種豚)を輸入。その世界 最高の遺伝子ソースを用い、日本の多様化する食の嗜好や 生産者のニーズにきめ細かく応えるべく、独自に育種改良を 行っています。





最新の遺伝改良技術を駆使し、 日本の市場に適した種豚へ

肉質に対する要求が高く、嗜好の多様化も進む日本の食肉市場。一方、生産者は、質の高い肉豚を、より効率的かつ経済的に生産するため努力を重ねています。イワタニ・ケンボローは、こうした日本の食肉市場や養豚産業の要請に応え、PIC社の遺伝改良データベースや自社AI(人工授精)センター、そして最新の遺伝改良技術を駆使して育種改良に取り組んでいます。目指しているのは、繁殖性、強健性、経済性を高めながら赤肉量や脂肪量など肉質の多様化に応えられる種豚。そのためにPIC社を代表する世界最高の品種に、独自に改良した日本オリジナルの品種を加え、固有の特性を持つ雌2ライン、雄3ラインの種豚をラインナップ。生産者が雌・雄を組み合わせることで、市場に合った肉豚を繁殖・生産できる環境を提供しています。

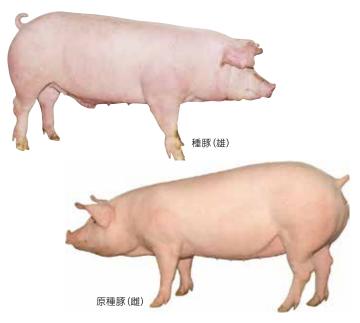
雌ライン	雄ライン	脂肪量	赤肉量	筋間脂肪
ケンボロー*35	PIC*380 =	: 少なめ	多め	少なめ
ケンボロー*	× PIC*800 =	・少なめ	適度	多め
- 4	PIC*265	: 多め	少なめ	多め





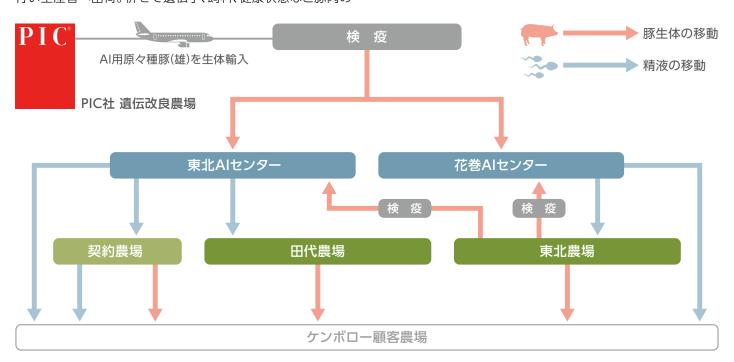
厳しい防疫基準を有する2つの直営農場で 生産者のニーズに合った種豚を育成・繁殖

イワタニ・ケンボローは、優れた種豚を生産者へ安定供給するため、東北に最先端の養豚システムを導入した2つの直営農場「東北農場」「田代農場」を持ち、また、北海道に契約農場を擁しています。厳しい防疫基準のもと種豚の繁殖・生産が行われ、たとえば田代農場では年間3,200頭の種豚の供給が可能です。人工授精用精液の生産・供給を行う東北および花巻のAIセンターも安定供給を支えています。先進のAI精液製造管理プログラムを採用し、必要で十分な有効精子数の確認を行い生産者へ出荷。併せて遺伝子、飼料、健康状態など豚肉の



銘柄化に必要不可欠な資源・情報を提供し、十分なフォローで 生産者をサポートしています。こうした取り組みによって、北海道 から沖縄まで、多くの農場でケンボロー種豚を利用し、数々の ブランド豚肉が誕生しています。

イワタニ・ケンボローは、遺伝子の輸入から育種改良、繁殖、生産、出荷に至る全プロセスを厳しい管理体制のもと一貫して行っており、その途切れることのない安心・安全が、種豚に対する高い信頼性を生んでいます。



ストレスフリーと安心・安全を追求、 理想的な養豚環境づくりをサポート。

生産性の向上、疾病の予防、防疫体制の構築、周辺環境との調和などに配慮し、最高の畜産成績を実現する先進の畜舎・機器を提案しています。



明確な畜産換気工学の理論に基づき、 養豚に最適化した畜舎を実現

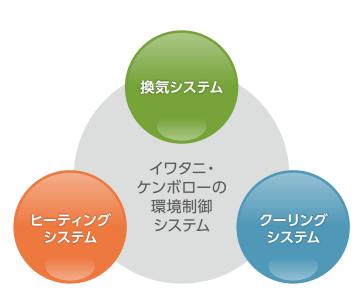
イワタニ・ケンボローは、種豚の生産と共に、畜舎など養豚施設 を本格的に手がける国内で唯一の企業です。

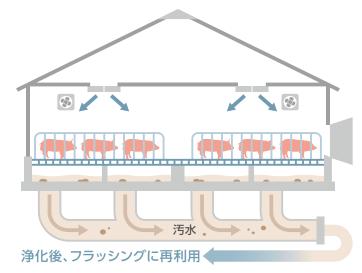
豚の成長は8割近く畜舎内の環境によって左右され、ストレスが多いと豚は病気にかかりやすくなります。豚が本来持っている遺伝的能力を最大限引き出し、飼育する多くの豚をより均等に発育させるためには、畜舎内の環境を均一にする換気、暖房、冷房の独立したシステムと、これらを最適に制御するシステムが必要であり、さらに病気感染のリスクを低減させるため、繁殖、離乳、肥育の施設を分離した畜舎を採用することが重要となってきます。確かな畜産換気工学理論と長年の経験に基づき、安心・安全で飼育のしやすい畜舎の設計から施工までを一貫して行っています。



フラッシング除糞システムで 抜本的な臭気対策を実現

養豚事業において非常に重要な課題とされているのが豚の 糞尿によって発生する臭気対策です。臭気の軽減には、「発生源 のコントロール」「フィルター」「希釈」という3つの方法が考えられ、 一般的に行われているフィルタリングによる脱臭や膨大な 空気量を必要とする臭気の希釈には、理論的に限界があると されています。イワタニ・ケンボローは、合理的かつ新しい 発想で臭いの発生源である糞尿の処理をコントロールする 「フラッシング除糞システム」を開発。これはピットにたまった 糞尿を水洗トイレのようにすべて流してしまうもので、臭気の 発生を大幅に抑えることを可能にしています。畜舎を取り巻く 地域の環境が変化する中、抜本的な対策が急がれる臭気問題。 イワタニ・ケンボローは先進のシステムで、生産者はもちろん 地域社会の要請にも応えています。





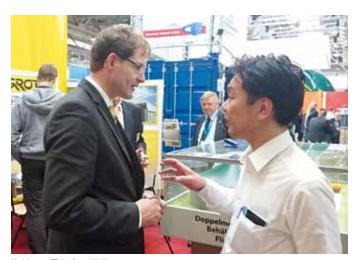




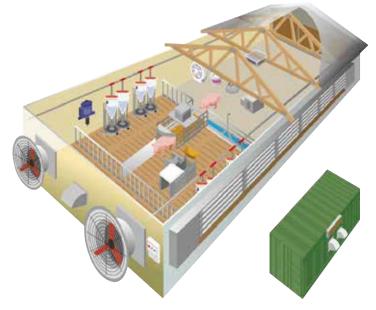
養豚の革新に貢献する 国内外の先進機器の開発・調達・販売

優れた品質の実現と高い経済性の両立が求められる養豚事業において、新しい機器の導入による飼育環境の均質化、作業の合理化は、ますます重要な課題になっています。イワタニ・ケンボローは、養豚プロセスの革新を実現し、さまざまな課題の解決・改善に貢献する最新の機器を世界中から調達または国内開発し、生産者のニーズに合わせて、その提案から販売・施工までを行っています。

換気システム、温度管理や風速管理システム、暖房・冷房装置や給餌・給水装置等々、機械化・自動化によって、養豚に従事する方の作業負担が軽減され、多くの時間を豚の観察やケアに当てることができます。また、畜舎用LEDライトの導入など施設の省エネも積極的に進めています。



海外での展示会の様子





ガソリックブルーダーG12(暖房装置)



マルチファン (換気装置)

養豚の課題にソリューションを。総合力で養豚産業の進化に貢献。

生産者に寄り添い、さまざまな課題を克服するハードとソフトを 併せて提供できるイワタニ・ケンボローだからできることがあります。



効率的な生産技術の導入を支援 最新の情報・ノウハウも提供

イワタニ・ケンボローは、総合力を生かした長年の種豚事業を通じて、養豚に必要な技術・ノウハウを豊富に蓄積しています。これをもとに自社獣医師や経験豊かな専門スタッフによる防疫・衛生管理、飼育・生産管理を始めとする高度な生産技術サービス、実践ノウハウを提供しています。提供するサービスは多岐にわたり、生産者のニーズや課題に的確にお応えすることができます。たとえば、肉質、飼料、健康などに関するノウハウの提供。疾病対策、飼育管理の改善、新たな設備システムの導入など養豚経営を円滑化するための情報提供。世界の養豚事業をリードするPIC社のノウハウや、海外を含めた養豚生産の最新技術の中から最適な情報を、いち早く提供できるよう努めています。



養豚経営の安定と発展を図る マネジメントを幅広く支援

日本の養豚産業は、疾病の脅威、後継者不足、環境問題、さらには海外からの安価な豚肉の輸入など多くの課題を抱えています。イワタニ・ケンボローは、厳しさを増す事業環境を、生産者の方々と共に乗り越えていくパートナーでありたいと考え、幅広いマネジメントサービスの提供に力を入れています。種豚、施設・機器、生産技術など養豚経営に関する様々な問題を、農場のデータをリアルタイムに収集し分析することで、生産者の方々と一緒に解決していくサポートを行っています。養豚に関するハードおよびソフトに精通し、PIC社の総代理店として、日本だけでなく世界の養豚事業を俯瞰できる強みを活かしたきめ細やかなサービスは好評をいただいております。









優れた種豚から始まる ポークチェーンの発展に貢献

イワタニ・ケンボローは、種豚、施設・機器、生産技術のすべてを提供できる国内で唯一無二の企業です。養豚事業のハードとソフトを一体的に提供できるからこそ、生産者の問題をいち早く解決へと導き、より優れた肉豚の生産、強固な経営体質への変革を支援することができます。さらに養豚産業の発展を通して、良質な豚肉や豚肉製品・メニューを販売・提供する幅広い豚肉関係産業の発展にも貢献しています。

豚肉に対する消費者の要求が世界で最も厳しい国といわれる日本。イワタニ・ケンボローは、これからも国内唯一の総合力を高めながら、種豚から始まり豊かな食卓へと至る"ポークチェーン"の発展に、持てる力を遺憾なく発揮して貢献したいと考えています。





世界で一番豚肉がおいしい国へ イワタニ・ケンボローは挑み続ける

今日も食卓を彩る「ケンボローポーク」。それはケンボロー種豚から生産される豚肉。その特徴は肉質がきめ細かく滑らかなこと。また、口の中に脂が残らずさっぱりしており、甘味・旨味を感じます。

ケンボローポークは、世界60ヵ国以上で生産販売され、日本でも国内産豚肉の約12%はケンボローポークです。ケンボローの名は出ていなくとも、全国各地で人気の銘柄豚やブランドポークが50種類以上も販売されています。

豚肉は、人気、生産量共に高く、栄養面でも優れた特質を持っており、これからも着実に消費量が増えるに違いありません。 日本の豊かな食文化のために、それを支える養豚の未来のために、イワタニ・ケンボローは、生産者、そして消費者の皆さまと共存共栄を目指し挑戦し続けます。



不測の事態にも対応できる、2つの最新鋭自社農場

イワタニ・ケンボローは、最先端の養豚システムを導入した2つの自社直営農場を有しています。「東北農場」は岩手県住田町、「田代農場」は青森県階上町に位置し、2つの農場によって種豚の需要増に応えるとともに、万一どちらかの農場が病気などの理由で生産できなくなった場合でも、大切な遺伝子を残す体制を整えています。

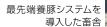
自社農場は厳しい防疫基準を採用し、バイオセキュリティを 徹底しています。入退場の際のシャワーイン・シャワーアウトは もちろんのこと、96時間以内、他の家畜と接していないことを 入場の条件とする96時間防疫ルールを厳守し、また車両・ 搬入物の殺菌消毒も徹底させています。

畜舎内では、畜産換気工学理論に基づいて換気、温度がきめ細かくコントロールされ、常に均一化した環境と快適で清潔な空間が保たれています。臭気対策については「フラッシング除糞システム」を採用。また「アニマルウェルフェア」を考慮した設計、フリーストールを導入し、ストレスの少ない健康な種豚の育成に努めています。二つの農場では、多くのスタッフが養豚の技術や知識など多様なスキルを身に付けています。地元採用の社員も多く、地域の雇用にも貢献しています。





農場に入る車両はすべて 洗浄、殺菌消毒



PICは、世界品質の証

1962年、イギリスの6人の養豚家が自分の農場で使用する種豚の品種改善を目的として、「PIC (Pig Improvement Company=豚改良会社)」を設立しました。PIC社は、豚を改良するために特に重要な「遺伝的能力」と「健康」を改善するためのプログラム作りを、ケンブリッジ (Cambridge)大学とエジンバラ (Edinburgh)大学に依頼。ここに新たな種豚が生まれ、2つの大学名を組み合わせて「ケンボロー (Camborough)」と命名されました。

以来、優れた能力を持つ「ケンボロー種豚」はイギリスのみならず世界の国々へと広まり、今では世界60ヶ国以上で販売され、 年間1億2千万頭以上の肉豚が生産されています。



岩谷産業の理念を受け継いで一

イワタニ・ケンボロー株式会社は、岩谷産業株式会社の全額出資により1982年に設立されました。岩谷産業は「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」という企業理念のもと、ガス&エネルギー分野を中心に数々のトップブランドで社会に貢献しています。たとえばカセットこんろ・ガス。全国310万世帯で使われているLPガス。究極のクリーンエネルギー水素はシェア約70%を達成しています。イワタニ・ケンボローも種豚シェア国内No.1。世界の養豚業界においてトップブランドである「ケンボロー種豚」は、日本においても世の中の必要に応えてシェアを伸ばし、トップブランドの地位を確立しています。
※文中のデータは2018年10月現在





lwatani イワタニ・ケンボロー株式会社

http://www.camb.co.jp/

